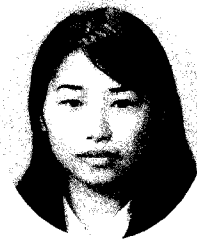


ヘンダーソンビル 留学日記

桂高校では都留市の姉妹都市である米国テネシー州ヘンダーソンビル市にある国際姉妹校、ビーチ高校とヘンダーソンビル高校の2校に長期留学生2名を派遣しました。先月号ではそのうちの一人を紹介しましたが、今月はもう一人の留学生、小侯のぞみさんの感想を紹介します。

留学報告書

桂高校3年 小侯のぞみ



私は去年の八月二日から都留市と姉妹都市のヘンダーソンビル市に行ってきました。五カ月間という限られた時間でしたが今回の留学でいろいろな経験をすることができました。

初めての飛行機、ちゃんと乗り換えができるか心配でした。空港でホストファミリーの人たちと初対面、飛行機から降りると笑顔で迎えてくれて、私の中の不安な心がこれから頑張ろうという心に変わりました。でもアメリカでの生活が始まるにつれて不安な心が私の中に蘇ってきました。それは全てが英語での生活の中で、英語を話すことができないということでした。私が思っていた以上に話すことができず、ましては聞き取ることさえ私にとつては難しかったのです。そんなとき、家族からの電話や友達からの手紙が私を支えてくれました。

私はヘンダーソンビル市にあるヘンダーソンビル高校に通いました。初めて登校した日のあの緊張感は今でも忘れることができません。でも教室に入るとクラスメイトが私に笑顔で話しかけてくれたとてもうれしかったです。

学校で私はArt、Chorus、Nutrition&Food、Algebra2のコースを受けました。

Artでは陶器やタイダイという模様のTシャツなどを作りました。みんな、それぞれ個性的な作品を作り出していました。

Nutrition&Foodは家庭の料理に関するもので一週間に一度くらい調理実習があり、その時はピザやケーキなどを作り、とっても楽しかったです。

Chorusではクリスマスにコンサートが開かれました。しかも学校のコーラスなのにパールのネックレス、黒のドレス、黒のヒールの靴、など衣装が決まっています。歌も上手く、上級のクラスを取っている人の中には将来歌手を目指している人がいてすごいなと思いました。このように学校では生徒がそれぞれ具体的な目的を持っていました。ヘンダーソンビル高校は進学高校なのでほとんどの生徒が大学に進むようでした。

私はホストシスターの大学の説明会と一緒に出席するためにジョージア州のアトランタに行きました。アトランタではダウンタウンに滞在しました。大学の説明会には数えきれないほど大勢の人が参加していて驚きました。また、アトランタには日本の本屋さんや日本料理屋さんが多く、あちこちで日本の人と会うことができました。私は学校以外でもすばらしい体験をたくさんしました。アメリカの行事であるサンクスギビング、クリスマスです。

サンクスギビングはアメリカ大陸が発見されたことを祝う日で、ターキー、マッシュポテトなどの料理をたくさん食べる習慣がありました。私はその日オハイオ州にあるホストファミリーの叔母さん

の家に行きました。ホストファミリーでは親戚の人などが集まると必ず映画を観に行きます。昼は子ども用のデイズニーの映画、夜にはパッチ・アダムスという映画を観に行きました。

クリスマスには各家庭でクリスマスツリーを飾ったり、家をカラライト、ホワイトライトでデコレーションしたり、クリスマスが近づくと町中がライトアップされてとても綺麗でした。私はその日予想もしないほどのプレゼントをもらいました。あんなにプレゼントをもらったのは初めてのことであったのでとても感動しました。

この五カ月間、私はたくさんの人と出会い、異文化の中でいろいろなことを学ぶことができました。これからは、この経験を生かして頑張っていきたいと思えます。

最後に、この留学に対していろいろご指導くださいました先生方、友達、ヘンダーソンビル市の皆さん、ならびに多くの人たちのご協力に心から感謝します。



ホストファミリーとともに